

## 若桜町介護保険事業の特徴

若桜町の介護保険事業について、地域包括ケア「見える化」システムにより、全国・鳥取県・近隣町・類似団体と比較し、本町の特徴と要因分析を行いました。

### 1 比較団体

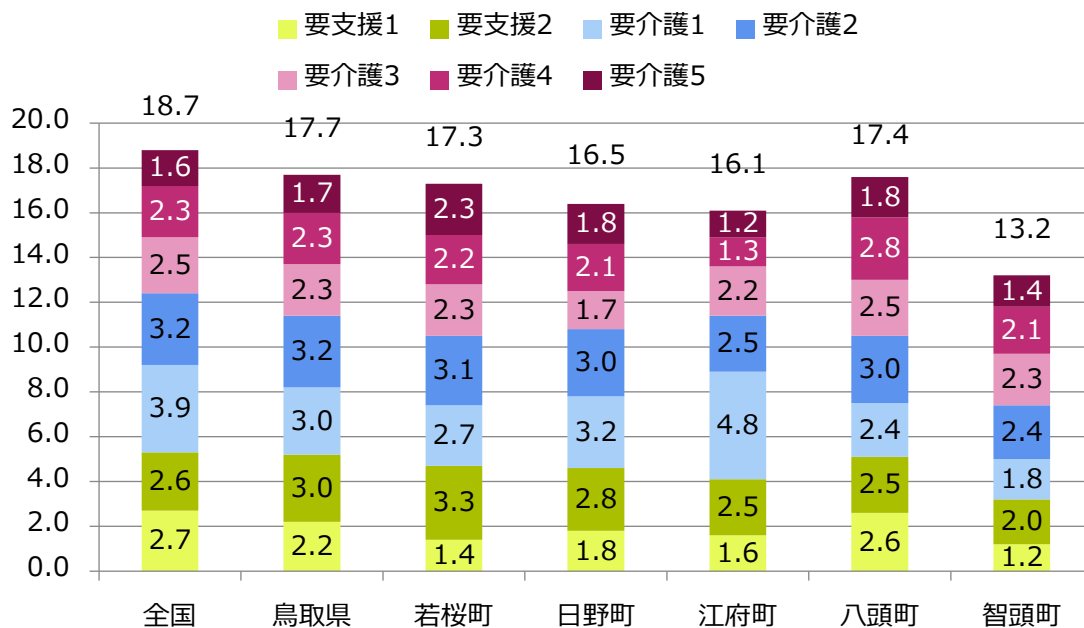
近隣の八頭町、智頭町及び県内の類似団体(人口規模や高齢化率等が類似している日野町、江府町)と比較を行いました。

市町村名	2020年(令和2年)		2015年(平成27年)	
	人口(人)	高齢化率(%)	人口(人)	高齢化率(%)
若桜町	2,864	48.7	3,269	45.2
日野町	2,907	50.6	3,278	47.0
江府町	2,672	49.1	3,004	44.7
智頭町	6,427	43.6	7,153	38.9
八頭町	15,937	36.3	16,977	32.0

出典:国勢調査

### 2 要介護認定率

#### 調整済み認定率（要介護度別）（令和2年(2020年)）



(時点) 令和2年(2020年)

(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報(令和元,2年度のみ「介護保険事業状況報告」月報)および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※ 本指標は要介護度別の「調整済み認定率」を示すものです。「調整済み認定率」とは、第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することで地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

若桜町の調整済み認定率は、全国及び鳥取県平均を下回っていますが、要介護5の認定率は、全国、県平均及び比較団体を上回る認定率となっています。

### 3 受給者一人あたり給付費

受給者1人あたり給付月額（在宅および居住系サービス） 令和2年(2020年)

単位:円

	全国	鳥取県	若桜町	智頭町	八頭町	日野町	江府町
要支援1	1,733	1,834	1,437	1,963	1,795	2,367	1,912
要支援2	3,640	5,382	8,027	5,844	4,856	9,020	6,041
要介護1	26,519	24,274	20,784	21,495	20,314	33,669	39,460
要介護2	31,001	34,264	29,549	33,841	38,880	29,237	29,642
要介護3	27,439	28,480	17,645	30,772	28,759	19,523	22,463
要介護4	22,403	21,923	13,251	19,918	25,500	13,202	10,053
要介護5	16,680	14,730	10,236	13,364	11,890	18,959	5,296

出典 厚生労働省「介護保険事業状況報告」月報

若桜町の給付月額は、要支援2が全国及び県平均を上回っているものの、要支援1及び要介護1～5で全国及び県平均を下回っており、近隣自治体との比較も同様の傾向にあります。また、県内の類似団体と比べ要支援1から要介護1の給付費が低くなっています。

### 4 第1号被保険者一人あたり給付費

調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額 令和元年(2019年)

単位:円

	全国	鳥取県	若桜町	智頭町	八頭町	日野町	江府町
在宅サービス	10,859	10,837	8,043	7,745	10,754	9,596	8,973
施設および居住系サービス	10,022	10,620	13,355	9,296	11,841	11,988	10,880

出典 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

※ 「調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額」とは、第1号被保険者の性・年齢別の人口構成が、どの地域も同じになるよう調整することに加え、単位数に一律10円を乗じることによって地域間での比較がしやすいように調整した数値です。

若桜町の給付月額は、在宅サービスが全国、県平均及び県内の類似団体を下回っているものの、施設および居住系サービスは全国、県平均、近隣自治体及び県内の類似団体を上回っています。

在宅生活より施設等に入所する傾向にあることがうかがえます。

## 5 まとめ(若桜町の特徴と要因分析)

若桜町の特徴として、性・年齢構成の影響を除外した給付データで全国及び県平均と比べ、施設サービスは高く、在宅サービスは低い値となっています。要介護3～5、特に要介護5の重度認定者の割合が高く、施設及び居住系サービスの利用が多くなっています。

人口減少・高齢化が進行しており、高齢夫婦世帯、高齢独居世帯の割合も高い傾向にあることから、家族の介護力が低く、重度者は在宅生活の継続が難しいため、施設等に入所する傾向にあると考えられます。施設等に入所する重度者が比較的多いことが、第1号被保険者1人あたり給付月額(在宅サービス)の低さにつながっていると思われます。

これらの現状を踏まえた課題として、要介護状態にならないよう、元気なうちから介護予防に取り組むための自立支援や、重度化防止のための取組みがさらに重要になります。また、可能な限り住み慣れた地域でいつまでも暮らしていくため、必要な介護・医療サービスが受けられるよう、在宅生活を支えるサービスの充実が必要ですが、特に訪問介護の利用は減少し、訪問介護事業所の運営は厳しい状況にあるため、介護サービスの安定的確保が課題となっています。また、施設等に入所が必要な方が円滑に入所できるよう、支援する必要があります。

さらに、高齢化に伴い、地域では認知症や複合化した困難事例が増加していくことが見込まれることから、住民同士が主体的に地域での担い手となり、支えあいの輪を広げていく支えあいの地域づくりを進めていくことが求められます。